

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年														
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~7日	10月 ~14日	10月 ~21日	10月 ~28日	11月 ~4日	11月 ~11日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	22	34	32	25	26 (28)	33
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	19	20	15	15	21 (22)	40
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	5	3	0	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	5	1	7	4	6	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	2	0	3	2	5	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	0	1	0	0	0	1
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第45週(11月5日~11月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8					7	1		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1			
四類	4	つつが虫病	1					1			
		デング熱	1							1	
		レジオネラ症	2					1		1	
五類全数	9	ウイルス性肝炎(E型・A型除く)	2					2			
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3				1	1	1		
		梅毒	1								1
		百日咳	3					1	1	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第45週 11/5～11/11)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

定点当たり6.50人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。

例年この時期からノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が急増するため、注意が必要です。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

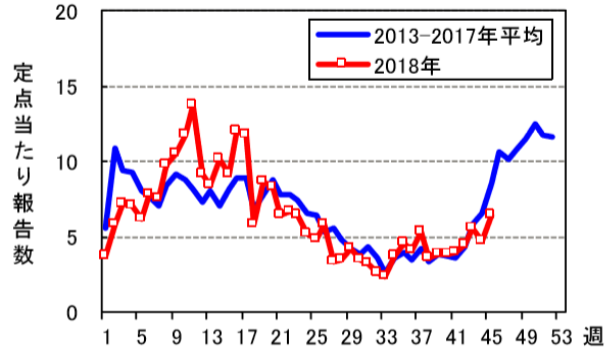
2. インフルエンザ

定点医療機関から22人(定点当たり0.59人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。

3. つつが虫病

1件の報告があり、今年の累計は2件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



【参考】感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	22	0.59	0.29	↑	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.74	
小児科	咽頭結膜熱	11	0.46	0.38		眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.70	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	3.17	1.87	↘		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	156	6.50	8.57	↔		流行性角結膜炎	11	1.38	0.80	
	水痘	14	0.58	0.62		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	21	0.88	0.81	↘		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.15			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17	
	突発性発しん	12	0.50	0.36			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	117	男性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	男性(10歳未満)・O157
4	つつが虫病	1	2	女性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	35	男性(50歳代)
5	ウイルス性肝炎	2	5	女性(30歳代)・B型・2人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	11	男性(70歳代)
5	百日咳	1	56	女性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(39.3) 咽頭炎	1	男	2018/08/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 瞼結膜の濾胞 結膜周攣充血	30	女	2018/09/17	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 瞼結膜の発赤	32	男	2018/09/19	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の疾患	発熱(38.8)	0	女	2018/07/29	糞便	エコーウイルス11型